

科目	作業療法学研究法	担当	竹田 徳則	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

本科目では、4年次で取り組む作業療法学研究法特論(卒業研究)につながる研究の基本とその必要性や意義、調査研究と実験研究の進め方、研究計画書作成を習得する。受講者は、①作業療法研究の必要性と意義を説明できるようになる、②研究の過程を説明できるようになる、③調査研究と実験研究について説明できるようになる、④3年次後期の作業療法学研究法演習で仕上げる卒業研究計画書の素案を作成することを目標とする。

【履修注意】

毎回出席を原則とする。

文献レビューを徹底し、作業療法学研究法特論で取り組む課題を見出せるように取り組んでほしい。毎回ノートPCを持参する。なお、予定変更の場合もある。

【評価方法】

研究計画書、試験を総合して評定する。

【試験について】

記述試験、卒業研究計画書(案)の提出。

再試験対象者の条件:総合評定60点未満の者とする。

【予習・復習】

毎回前回の内容確認を行う。学生は、毎回の講義に対して45分の予習や復習が必要である。

【教科書】

作業療法研究法。竹田徳則, 大浦智子:編著。医歯薬出版。2017。

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	研究法総論①	作業療法研究・文献検索・文献レビュー
2	研究法総論②	作業療法研究・論文の種類・論文の構成
3	研究法各論①	研究倫理・調査研究・横断調査・縦断調査
4	研究法各論②	調査票設計・設問法・回答法・選択肢・シングルケース法
5	研究法各論③	調査票集計・結果の示し方・分析法・調査研究の限界
6	研究法各論④	介入研究の特徴・種類・仮説
7	研究法各論⑤	介入研究の方法・実験の統制・実験研究の限界
8	研究法各論⑥	尺度の種類・統計分析・検定の選択・結果の示し方
9	研究法各論⑦	研究計画書の構成・書き方・文献検索・文献レビュー
10	研究法各論⑧	研究計画の考え方(外部講師)・作成・文献レビュー
11	研究法各論⑨	研究計画書・作成・文献レビュー
12	研究法各論⑩	研究計画書・作成・文献レビュー
13	研究法各論⑪	研究計画書・発表・討論
14	研究法各論⑫	プレゼンテーション資料の基本・発表技法・論文執筆の基本・留意点
15	研究法各論⑬	研究の質向上・各種声明
16	16期末試験	15回の復習・確認・総まとめ